

まちのほっとスペースは「居場所」「相談」「ちょっとした困りごとの手助け」の3つの機能を持ち、ワーカーズまちの縁がわが運営しています。

東京全体で6番目のワーカーズ設立、7ヶ所目の拠点となります。昭島地域協議会の中・長期計画に基づき、2年前から地域の居場所づくりに向けた取り組みをすすめる中、住居1階の空き店舗を地域のために活用してほしいとの提案を受け、開設に繋がりました。

人を癒すのは人との交わりであることを根底に置き、気軽に立ち寄り、話ができて、異年齢の人が交流のできる場所を作ろうと、子育て中の人をはじめとして多世代の14人のスタッフが参加し、和気あいあいと活動しています。当面は相談事業と居場所事業を行い、必要に応じてたすけあいワーカーズ「大きなかぶ」と連携していきます。また、発達障がいなど障がいのある子どもの学習支援へのスペースの貸出しや、夜間のスペース利用で若者支援の企画を展開していくことも検討中です。代表の篠原さんからは、若い人・子育て中の人にも孤立しないよう、地域につながる場が必要だという思いを聞かせていただきました。



↓多世代が参加しています



←「ここっちゃん」の由来は「ここでおちゃ」と「ここだよ」という意味の九州弁です。



↑10/20のお披露目では社会福祉協議会の方も参加、今後の連携が期待されます

ほっとスペースの機能は今後、地域包括ケアや自治体ごとに展開される地域支援事業において要となるものと思われます。昭島・まちの縁がわワーカーズ朝日町では、この居場所活動を成功させ、昭島市内にさらに2つ3つと拠点を拡大できるような人材を見つけていくことを目指しています。

昭島市朝日町 4-22-19
JR 青梅線「中神」駅南口 徒歩約7分
開設時間：月・水・金曜日 午前10時～午後4時
連絡先：042-519-2134

サポーター募集中!

あなたの**1日10円**で、つながり・支えあう豊かな地域社会をつくりましょう!

サポーターとは『地域ごとに必要な機能をつくり、市民が参加し利用するまちづくり型福祉』を推進し、豊かな地域社会づくりにつなげるために、インクルーシブ事業連合の運営および助成の財源を寄付で支える、個人または団体のことです。

<会費> 個人 3,600円/年 団体 10,000円/年

※生活クラブ組合員の場合、登録制で300円/月を共同購入代金と一緒に引き落としが出来ます。

★サポーターになるには、下記の登録申込書をファックスまたは郵送していただくか、ホームページのお申し込みフォームからご登録ください。URL <http://inclusive-gr.com/>

郵送先：〒156-0051 世田谷区宮坂 3-13-13 3F「生活クラブ・東京」内 インクルーシブ事業連合
ファックス: 03-5426-5203 電話: 03-5426-5207

2014年11月1日現在
インクルサポーター
328人・345口
目標 2000口(〇>_<)

お名前			
ご住所	〒		
電話番号		メールアドレス	
所属	・一般 ・助成を受けた団体 ・生活クラブ生協（組合員コード： ） ・運動グループ（団体名： ） 会員・メンバー ・その他（ ）		
申し込み口数	個人（ ） □ 1 □ 3,600円/年 団体（ ） □ 1 □ 10,000円/年		

※ ご記入いただいた個人情報は、インクルーシブ事業連合のサポーター登録およびお知らせの送付に限り使わせていただきます。

インクルーシブ通信

2014年12月
VOL.10



発行：生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合 発行責任者：土谷雅美 <http://inclusive-gr.com>

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂 3-13-13 生活クラブ・東京内 TEL 03 (5426) 5207 FAX 03 (5426) 5203

インクル福祉ツアー報告

インクルーシブ事業連合では、運動グループの地域福祉ビジョン（市民版・地域包括ケアシステム）「市民による市民のための安心のネットワーク」の構想を描き、必要なしくみづくりをすすめていきます。この市民版・地域包括ケアのイメージづくりにつながる取り組みとして、5つの事業所を見学しました。

社会福祉法人 いきいき福祉会

ラポール平塚：訪問介護、いきいきサポート、サポートハウス「和（なごみ）」

○高齢者のみならず障がい者や社会復帰を目指す方、DV被害者、一人で生活するのが不安と感じている方など、年齢制限なく入居可能。アパート契約なので暮らし方は自由です。

○介護保険サービスやかかりつけ医もそれぞれが契約します。サポートハウスのサービスとしては、朝晩2回の安否確認と相談支援、相談緊急時対応（希望者に緊急コール）。家賃、共益費を加えても生活保護受給者や年金暮らしでも入居可能な料金設定となっています。

○コミュニティルームでは、地域に開かれた場として編み物教室やはがき絵などの趣味活動も行われています。



↑ 民間アパートを改装したサポートハウス和(ラポール平塚)

ラポール藤沢：特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、居宅介護支援、総合相談事業、緊急通報システム、食事サービス

○1994年に開設された、いきいき福祉会最初の事業。特養は10~20人の小さなグループによるユニットで、顔なじみの関係を大切にしています。
○介護職員は寄り添う人という意味で「パートナー」という言葉を使っています。

詳細を報告書にまとめました。ご覧になりたい方はインクルHPにアクセスしてください!

【インクルーシブ事業連合構成団体】生活クラブ生協・東京/23区南生活クラブ生協/北東京生活クラブ生協/多摩きた生活クラブ生協/多摩南生活クラブ生協/NPO法人アビリティクラブたすけあい(ACT)/社会福祉法人悠遊/東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合/東京コミュニティパワーバンク/NPO法人市民シンクタンクひと・まち社/認定NPO法人まちぼっと/東京・生活者ネットワーク/特定非営利活動法人エコメッセ

(株) あおいけあ

おたがいさん：小規模多機能型居宅介護
いどばた：デイサービス(おたがいさんのサテライト)



↑利用者と一緒にお団子作り ↑敷地内の通路は子どもたちの通学路にもなっている

○あおいけあでは「高齢者とスタッフがキャストで地域がゲスト」じいちゃんばあちゃんとスタッフは、見る看られる関係ではなく地域づくりの仲間。
○高齢者のアイデンティティ(存在意義)に着目し、大工仕事、料理、農業、縫い物等、それぞれ得意分野を発揮してもらうことで、元気になってもらう。高齢者を社会資源とした取り組みが、地域づくりにも繋がっています。

ラポール城南：サテライト特養、認知症デイ、共生型コミュニティ「かるがも」、訪問介護、夜間対応型訪問介護、サポートハウス城南、在宅介護支援センター



↑サテライト特養 ↑地域交流の場「かるがも」

○サポートハウス和と同じく、制度外の事業として様々な状況の方を入居対象者としています。
○特養はラポール藤沢のサテライトとして、16室の個室があり、生活は利用者それぞれのライフサイクルに合わせ柔軟に対応、個室はベッドのみ用意されており、その他の家具は個人のもの。
○「かるがも」は誰もが気軽に立ち寄れる「居場所」。地域住民主体の運営会議が行われています。

